

4. 観光のまちづくり方針

自然、歴史、文化等、地域の特性を活かし魅力ある観光資源を保全、活用しながら、各資源の連携により観光ネットワークを形成し、市内外の交流や賑わいのある観光のまちづくりをめざします。

(1) 観光資源のネットワーク

観光資源

- ・ 自然観光資源
十和田湖、奥入瀬溪流、八甲田連峰
- ・ 市街地エリアの観光資源
官庁街通り、十和田市現代美術館、アート広場、新渡戸記念館
- ・ 市街地エリア周辺の観光資源
馬事公苑、高森山総合運動公園、道の駅

これらの観光資源を結ぶネットワークを形成し、併せて中心市街地での宿泊施設や飲食店、買い物等、中心商業の活性化や、道路や交通機関等の観光ルートの整備により、観光客の誘導を図ります。

(2) 観光基盤と体制の強化

十和田湖等の自然観光資源や市街地にある観光資源の連携を図るため、交通アクセスの充実や案内サイン、駐車場整備等、観光基盤の整備を推進します。

インターネットを活用した観光情報提供体制の整備等、市内外への情報発信の体系を形成し、県内や周辺市町村との広域観光資源の連携強化を図ります。

自然環境や景観に配慮しながら観光資源や施設の整備、保全を図り、環境にやさしい観光のまちづくりを推進します。